



庭で笹ユリが初めて咲きました。薄ピンクの優しい香りのするお花です。伯人の家の庭先に群生している記事が新聞によく出ていました。いすんそうびるといい花と思いつつ眺めています。昨年植えたカキランも1花咲いていすんと床の間を飾りました。梅雨時をいよいよ深みが増した昔にくりり紫陽花の青や紫、白ピンクの浮かんて夢のよう美しいです。

倶楽部 右馬允を立ち上げて下さった故近藤正照様の奥様は 大鹿へみえると必ず二日お泊り下さいます。二日の朝からみんなでお乗(みぢ)こり。今回は鳥倉方面へわらわ採り、谷を隔てて大池の青いけし見物ツアーとなりました。このわらわ採りする場所は正介の大好きなところ。朝早くから一人で飛ぶ出していってしまいます。このクマの被害が相次いで起きており、恐いからやめてといても大丈夫といてしまいます。道すがら遂に私たちも初めて野生のクマを見ました。道路右側の植林された唐松の林の中(見透し)でどうやら水を飲んでいました。私たちの視線を感じたのか顔をあげ目と目の合点とクルリと体をかわして向うへ走っていきました。いつもクマと出会ったらどうしようと思っている

ことで、こういう状況なら余裕はありますか。わらわも採っていておしと思えば恐ろしい限りです。そんな時大丈夫という正介の声に押されて車を降りてわらわ採りへ。おあると採っても採ってもまたあってクマの恐さも忘れ夢中で採っていました。

わらわの香  
ゆいかに  
りるま  
といー反と  
反む  
お

もう終盤を迎えた青いけしは静かに高く咲いていました。雨上がりの霧に包まれたおぼろ空間に咲き並ぶ青いけし。近くの梢まで上手にうたう鶯。見事に統一された美の中のおまひとききました。

8月の夏祭りをお控へ、寄附集めに大忙しの正介主じ。寄附をお願...に集めたのか解る人でありますね。よく吠えてくますね。おれ立派な犬でありました。いい顔してあるじさん。おれといつかは言わぬお世辞を並べて採るとクマ... ねに お来た車中が川柳 ひとつ

寄附募り 禿を忍んで 頭下げ

正介